

# COM コミュニケーション学科の先輩たちが、社会で目指していることは？

Good Communication!

仁愛大学

「考える、伝える力。」  
人間学部  
コミュニケーション学科

2022  
VOL. 02

仁愛大学

「考える、伝える力。」  
人間学部  
コミュニケーション学科

2022  
VOL. 02

# だから私は、仁愛大学のコミュニケーション学科で学んでいます。

# COM

越前市の地域貢献活動についてプレゼンテーションを行っているシーン。確かなコンセプトを軸に、プロジェクト内容を伝えています。



人間学部 コミュニケーション学科3年

池田 茉莉会 | 武生東高校出身 |

地元越前市の小学校では卒業証書を、自ら和紙を漉いて作る習慣があります。また、最近では、越前和紙は宇宙服にも使われています。伝統であり最先端であるその価値を、私は社会にもっと広くPRしたいとずっと思っていました。そんな時、出身校で大学説明会が行われ、コミュニケーション学科へ進む機会を得ました。“和紙のPRプロジェクト”を自分で手掛けたいと考え、今、ゼミの仲間とともに改めてその知識を深掘りし、共有を図っています。また、PR以外に後継者不足などの課題解決も視野に、素材収穫の重労働解消などを構想しています。今後は、調査・発信手法の基盤を在学中に学び、いつか全世界で越前和紙を有名にしたいです。また、継承されるだけでなく、次々と新しい価値を生み出す産業となるための力添えができたらと願っています。

伝統であり最先端である越前和紙。  
その価値を、世界へ届け、  
未来へ育てたい。

Good Communication!

お客様と会話することで、お客様の楽しみを生み出す。



コミュニケーション学科2年  
坪田 滉介 | 金津高校出身 |

社会で何がしたいか。得意なことをここでつくりたい。



コミュニケーション学科2年  
川口 花乃音 | 福井商業高校出身 |

夢は、海外での観光ガイド。情報収集力を習得したい。



コミュニケーション学科2年  
竹内 美月 | 武生東高校出身 |

目指す英語教師に必要なのは、コミュニケーションスキル。



コミュニケーション学科2年  
石塚 岳斗 | 勝山高校出身 |

商品開発をしたい。だから、考えを言葉にする力を



コミュニケーション学科2年  
石川 遥加 | 鯖江高校出身 |

対話ってすごい。その人の人となりを知ること、喜ばせ方がわかったりします。将来はコミュニケーション力が活かせる職業に就きたいです。

高校時代は簿記を専門に学んでいました。将来の進路はまだ決められていませんが、幅広い学びの中で自分の得意なことを見つけたいです。

海外での日本人向け観光ガイドに憧れています。もともと好きな英語のさらなる上達とともに、情報収集力のスキル習得に注力しています。

英語を教える上では、英語のスキルと同様に生徒の視点に立てることが大事です。ここで、しっかりコミュニケーション力を磨こうと思っています。

将来は、食品などの商品開発を行う仕事がしたいです。そのためにはお客様の声を聴き、自分の考えを言葉にするスキルが欠かせません。

## COM 時代が求める、あなたが求める、コミュニケーション力がここで!

地域・組織の課題を解決する  
企画・マネジメント力

**ビジネスコース**

[免許&資格]  
簿記、英検・観光英検、ITパスポート、  
社会福祉主事(任用資格)

多様化する社会・文化をとらえる  
調査・分析力

**社会・文化コース**

[免許&資格]  
社会調査士、ITパスポート、簿記、  
英検・観光英検、社会福祉主事(任用資格)

国際社会で役立つ  
実践的英語力

**国際英語コース**

[免許&資格]  
中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)、  
TOEIC®、英検・観光英検、ITパスポート、簿記、  
社会福祉主事(任用資格)

# COM コミュニケーション学科 卒業生インタビュー

## Department of Communication × Action Thinking Teamwork コミュニケーション学科だからできること。

3つのコース・多様な専門分野のゼミがあるコミュニケーション学科だから、  
地域社会や国際社会とつながり、経験できる学びも多彩です。



大学時代の能動的な姿勢を忘れずに、  
周囲から信頼される人物になりたい。

—コミュニケーション学科を選んだ理由は？

学べる分野の広さですね。高校時代はまだ自分が社会に出て何がしたいのか決まっていなかったため、卒業生がさまざまな企業に就職しているコミュニケーション学科を選びました。

—2年次から情報社会コース(2022年度入学生より社会・文化コース)に進みましたね？

1年次にITパスポート取得を目指す授業があり、自分はPCやサービス系の仕事が好きなかと思っただけで選んでいました。無事に資格も取れ、データ解析やプログラミングの授業で学んだことは今も役に立っています。

—3年次からのゼミでは、どのようなことに取り組みましたか？

情報学のゼミで、多くのことに取り組みました。なかでも印象深いのは、ゼミ生でチームを組み、ビジネスプランコンテストに挑戦したこと。私たちのチームは北陸大会で全国大会への切符を手にし、全国の企業・大学とプランを競いました。コロナ禍の地域を明るくしようと、地元企業から協賛金を集めて花火大会も開催しました。チームで協力して成し遂げたことは、本当によい経験になりました。

—大学時代にもっとも成長した点は？

能動的になったことです。高校時代は周囲に合わせて、リスクを避けたりすることがありましたが、ゼミで自分の考えを言う機会が多くなり、何でも挑戦してみようと思えるようになりました。

—入社1年目、現在の仕事や抱負を聞かせてください。

今は電子書籍事業に携わり、ECサイトの運営や売り上げ向上の施策を担当しています。抱負は、大学時代の能動的な姿勢を忘れずに、周囲から信頼される人物になること。まずは仕事をきちんと仕上げ、社内での勉強会にも積極的に参加していきたいです。



高木 実さん コミュニケーション学科 / 2022年3月卒業

DMM.com 二次元事業本部  
二次元運営部 電子書籍運営グループ



後輩たちが取り組んでいる「越前市デジタルツインプロジェクト」にも、ゼミOBとして参加(右端)



Challenge Japan IoT Award(ICTビジネスモデル発見&発表会全国大会)に出場

当日の様子はYouTubeで公開



2021年10月に開催した「地域感謝×SDGs花火大会」のポスター



### 「ふくまがじん」を制作・配布

人・暮らしを起点に地域資源に光を当てる。

2019年度から越前市服間地区の「ふくまブランディング事業」に取り組んでいる升田ゼミ。服間のおいしい湧水を用いた珈琲や地域食材を活かしたフード等を提供するカフェの運営も、その事業の一つです。2022年度には、地区の魅力を再発見し元気づけを取り戻してもらおうと、学生が現地取材を通して選んだ風景・人物・伝統文化などを取り上げた冊子「ふくまがじん」を制作。地区内全戸に配布しました。



### 越前市内の古い街並みを三次元化

市やCode for FUKUIと連携。デジタルツインプロジェクトの試み!!

安彦ゼミでは、フォトグラメトリ(さまざまな角度から撮影した複数の写真をコンピュータで解析して3DCGを合成)の技術や最新のセンサーを用いて、越前市の古い街並みをサイバー空間に双子のようにリアルに再現するプロジェクトを進めています。市職員やゼミOB、関連企業や芸術家、地元アイドルなど多様なサードパーティとともに、「もっと楽しい越前市」に向かって取り組んでいます!



### フィールドワーク演習(国際交流)

2週間プログラムで異文化理解力&英語力をブラッシュアップ!



※2022年度は、アメリカ・カリフォルニア州立大学フラトン校での現地研修を実施予定です。

2021年度は、コロナ禍のため、カナダ・アルバータ大学オンライン留学(2週間プログラム)として実施。参加者は、1日3時間の授業を受け、さまざまなトピックに関するディスカッションも1日2回以上行いました。参加学生による報告会では、次第に臆することなく楽しく会話できるようになり、このプログラムで知会った海外の友人と今後も交流を続けていきたいという声がかれました。

### 日常使いがしやすい越前漆器のストロー

持続可能なものづくりを目指して地元企業と共同開発。

2021年3月、曾明漆器店(鯖江市)と吉村ゼミの共同企画による越前漆器のストロー「sq.」(スク)が発表されました。「sq.」は、落ち着いた本漆の3色と鮮やかなブルー(食器用ウレタン塗料)2色の計5色展開。漆の可能性を広げた日常使いがしやすいユースアイテムです。吉村ゼミでこの事業の中心となった吉田真那さん(当時4年)は、ブランドのネーミング、ロゴやリーフレットのデザインも手掛けました。



### FUKUI SDGs AWARDS 2021

学生が企画・運営。福井県のSDGs達成に資する取り組みを表彰!

学生主体の実行委員会が中心となり、2回目となるFUKUI SDGs AWARDS 2021を開催しました。協賛・後援の依頼や応募告知のための企業・学校訪問から、ポスターやトロフィーのデザインまで、学生がイベントの企画・運営のすべてに携わりました。ハビリンホールで開催し、YouTubeでも配信した最終審査会には大きな反響があり、福井県のSDGs推進の後押しにつながるプロジェクトとなりました。



### 教育実習(教職課程)

「先生」として教壇に立つと、なりたい自分がより見えてくる。

国際英語コースで教職課程を履修し、中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)の取得を目指す人には、3年次に高校、4年次に中学校での教育実習(各2週間)があります。3年生は、仁愛女子高等学校で初めて「先生」として英語を教えるなかで、学びの大切さや生徒との関係を改めて実感。4年生は、出身中学校で教育実習を行い、本物の先生になることを目指して教員採用試験に臨みます。

